

アジスロマイシン錠 250mg 「F」

【この薬は？】

販売名	アジスロマイシン錠 250mg 「F」 AZITHROMYCIN tablets
一般名	アジスロマイシン水和物 Azithromycin Hydrate
含有量 (1錠中)	262.0mg (アジスロマイシンとして 250mg (力価))

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、マクロライド系抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、感染症の原因となる細菌の増殖を阻止または殺菌する作用があります。
- ・次の病気の人に処方されます。

<適応症>

深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎

<適応菌種>

アジスロマイシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、淋菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、ペプトストレプトコッカス属、プレボテラ属、クラミジア属、マイコプラズマ属

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、一回分を減らしたりしないでください。指示どおりにきちんと飲まない、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示どおりに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にアジスロマイシン錠「F」に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・過去に他のマクロライド系またはケトライド系薬剤で過敏症のあった人
 - ・高度な肝機能障害のある人
 - ・心疾患のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

	飲む回数と飲む量
通常	1日1回2錠、3日間
尿道炎、子宮頸管炎	4錠、1回だけ
骨盤内炎症性疾患	アジスロマイシンの注射剤による治療を行った後、1日1回1錠
肺炎の治療で、注射剤から切り替えた場合	あなたの症状にあわせて医師が決めます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

聴力障害（音や声がきこえにくい、耳鳴り）、消化器症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、すぐに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ショック、アナフィラキシー、中毒性表皮壊死融解症（TEN）、皮膚粘膜眼症候群（スティーブンスジョンソン症候群）があらわれることがあります。冷や汗、顔面蒼白、息苦しい、脈がふれない、発疹（ほっしん）、粘膜（口唇、眼、

外陰部) のびらんあるいは水ぶくれなどの症状があらわれた場合には使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

- ・この薬を飲み終わった数日後でも副作用があらわれることがありますので、症状があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。
- ・尿道炎、子宮頸管炎の人の場合は、1回飲んだあと2～4週間後に効果が判定されます。
- ・意識障害（気を失う、もうろう状態）などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合には、十分に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンスジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	からだがだるい、高熱、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、食欲不振
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	からだがだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ、発疹、全身の発赤、発熱、のどの痛み
肝炎 かんえん	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、皮膚が黄色くなる




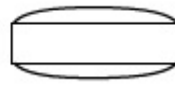
重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
肝不全 かんふぜん	吐き気、嘔吐、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
偽膜性大腸炎 ぎまくせいだいちょうえん	嘔吐、むかむかする、腹痛、下痢、血が混ざった便
出血性大腸炎 しゅっけつせいだいちょうえん	激しい腹痛、下痢、血が混ざった便
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
好酸球性肺炎 こうさんきゅうせいはいえん	発熱、から咳、息切れ
QT 延長 (心電図の波形の異常) キューティーえんちょう	動悸、気を失う
心室性頻脈(トルサード ド ポアントを含む) しんしつせいひんみやく	息切れ、動悸、脈が速くなる、意識がなくなる、胸の痛み、胸部違和感、気を失う
白血球減少 はつけっきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
顆粒球減少 かりゅうきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、高熱、からだのむくみ、疲れやすい、脱力感、リンパ節(首、わきの下、股の付け根など)のはれ
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、頭痛、意識がなくなる
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる、眼がはれぼったい

部位	自覚症状
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐、から咳、のどの痛み、歯ぐきの出血
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、吐き気、むかむかする、胸の痛み、胸部違和感
腹部	食欲不振、吐き気、むかむかする、腹痛、激しい腹痛
手・足	関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ、脈が速くなる、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ
皮膚	じんましん、赤い発疹、発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、皮膚が黄色くなる、かゆみ、あおあざができる、皮下出血、全身の発赤、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る
筋肉	筋肉の痛み
便	下痢、血が混ざった便
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、尿がでない、尿量が減る、赤褐色尿
その他	判断力の低下、陰部の痛み、気を失う、出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

PTP シート			
	表面	裏面	
形状	フィルムコーティング錠		
			
	表面	裏面	側面
長径	13.6mm		
短径	6.9mm		
厚さ	5.6mm		
重さ	468mg		
色	白色		
識別コード (PTP シート)	FJ26		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	アジスロマイシン水和物
添加物	無水リン酸水素カルシウム、部分アルファー化デンプン、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ラウリル硫酸ナトリウム、ヒプロメロース、マクロゴール6000、タルク、酸化チタン、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<http://www.fujipharma.jp/>)

学術情報課

電話番号：076-478-0032

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）